

そよかせ

通信



2022年10月 No. 14
 発行責任者 **金森すみ子**
 北本市議会議員
 連絡先 金森すみ子とあゆむ会
 北本市東間 8-230-172
 電話・Fax 048-542-8794

令和4年第3回北本市議会定例会(8/26~9/29)が開催されました。

令和3年度の会計決算の審議が主な内容です。

- ▶ 市長からの提出議案 → 決算7件、条例改正3件、補正予算6件、人事案など11件
- ▶ 議員からの提出議案 → 2件
- ▶ 市民からの請願 → 1件 全て承認・可決されました。



令和3年度決算

《北本市の財政の健全性は？》 基準を下回っており、堅実な運営と判断できます。

	R3年度 ←	R2年度 ←	R1年度 ←	H30年度 ←	H29年度
① 実質公債費比率 (基準値 25.0%)	7.3%	7.4	7.3	7.3	6.2
② 将来負担比率 (基準値 350.0%)	4.8%	18.9	27.1	34.3	41.5

① 一般財源に占める公債費(借金の返済額)の割合

小中学校の耐震改修工事や新庁舎建設などでの借金を、現在返済している最中で、やや高めに推移しています。

② 一般財源に占める将来支払う負担額の割合

新たな市債(借金)を控えて、借金の返済額を増やしました。国からの地方交付税が大きく増え(前年度比+29.8%)、積立金は昨年度の約2倍となり、その結果大きく軽減されています。

《決算の一覧》



	歳入 (前年度比)	歳出 (前年度比)
① 一般会計	255億 8,790万円 (-11.9%)	240億 8,229万円 (-13.5%)
< ※ 令和2年度は コロナ関連への国・県からの支出金が 約76億円と多額でした >		
② 後期高齢者医療特別会計	9億 5,962万円 (+3.9%)	9億 3,494万円 (+4.0%)
③ 久保特定土地区画整理事業特別会計	3億 7,297万円 (+316%)	3億 6,342万円 (+36.5%)
④ 国民健康保険特別会計	66億 9,594万円 (+2.2%)	64億 3,452万円 (+1.7%)
⑤ 介護保険特別会計	51億 4,727万円 (-4.9%)	49億 7,105万円 (-7.0%)
⑥ 埼玉県央広域公平委員会特別会計	58万円	24万円

① 一般会計

< 歳入 >

▶ **市税は、88億5,794万円**（前年度比+0.2% 歳入の35%を占める）



- ・ 個人市民税 37.6 億円（前年度比 -1.9%）→ 将来的には少子高齢化で減少の見込み。
- ・ 法人市民税 4.7 億円（前年度比 +36.9%）→ 市内の製薬・医療機器会社がコロナで増収。

▶ **令和3年度ふるさと納税は、9億745万円、2年連続の埼玉県内1位**

最終的には前年度の1.5倍となりました。返礼品は、高級紳士服「英国屋」の仕立券が、相変わらず高所得者に好評です（金額全体の96%）。件数で見ると、「グリコ菓子詰合せ」や「クッキー専門店“クル”の詰合せ」が人気で、3500件程です（件数全体の61%）。新たな返礼品の出品に、9事業者29品を追加しました。
市の実際の収益は、約4.2億円です。（「宣伝や返礼品などの経費」と「北本住民の市外へのふるさと納税が約1.2億円」を差し引く）



今後の課題は、その使い道 ふるさと納税からの収益は、基金に積み立てられ、より良い市民生活に向けて使われていきます。この収益が年々増えていくことはありがたいことです。ですが、ふるさと納税は安定した財源ではありません。収益を当てにするような使い方には、注意が必要です。令和3年度には、経常的経費のような使い方（こども医療費に1億1,500万円など）が見られ、市へは指摘しましたが、今後も注視していきます。



< 歳出 > 主なものを見えますと

	支出額 （前年度比）	構成比率
民生費（高齢者・障がい者・児童・子育てへの福祉、生活保護費用など） ＜※ 高齢化の進行、子育て世帯等への給付金あり＞	103 億 4,966 万円 （ + 17.5% ）	43.0 %
総務費（情報システム・税金徴収などへの経費、人件費、委託料など） ＜※ 令和2年度は コロナ支援として一人10万円給付で66億円＞	43 億 8,109 万円 （ - 55.7% ）	18.2 %
公債費（借金返済） ＜※ 国から、公債費用の臨時交付金がありました＞	23 億 4,699 万円 （ + 3.5 % ）	9.7 %
教育費（小中学校、生涯教育など） ＜※令和2年度は 生徒へタブレット端末の配布などの整備、コロナ感染症対策で増大＞	21 億 3,262 万円 （ - 9.7% ）	8.8 %
衛生費（し尿・ごみ処理、健診委託など） ＜※ コロナワクチン接種に 約5億円＞	19 億 4,525 万円 （ + 29.0 % ）	8.1%
土木費（道路・橋・河川の維持、公園整備など）	13 億 7,807 万円 （ - 9.2% ）	5.7 %
消防費（県央広域事務組合負担金）	9 億 4,341 万円 （ - 0.5 % ）	3.9 %

令和4年度補正予算

令和3年度決算の認定により、剰余金(余ったお金)は14億 9,621 万円と、確定しました。この剰余金を今年度へ繰り越し、この補正予算へも投入します。



▶ 原油価格・物価高騰等の対策として支援金を給付します

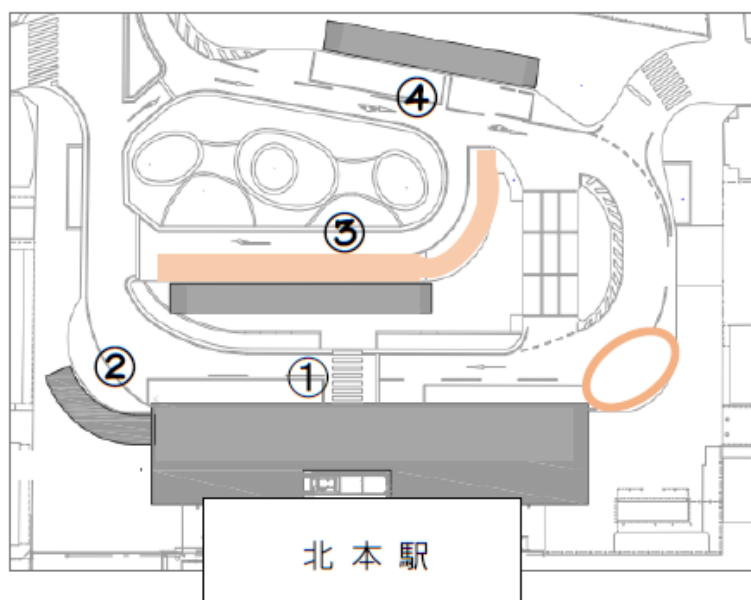
- 学校給食へ 1,731 万円 ⇒ 物価高騰相当額6か月分を各学校の給食会計に交付
- 中小・小規模事業者へ 1億 4,405 万円 ⇒ 1 事業者一律5万円を給付
- 農業者へ 3,182 万円 ⇒ 販売農家一律5万円、加温設備導入の場合10万円を給付
- 公共交通へ 515 万円 ⇒ 対象は路線バス、タクシーなど
- ゴミ収集・し尿収集車 720 万円



▶ 道路環境の整備をします 3億 4,400 万円

土木費については、財源の不足や新型コロナの影響もあり、予算が抑えられている状況です。昨今では道路の安全性が心配され、議会でも何度も取り上げられていました。舗装や側溝の改修などに着手していきます(28ヶ所)。

北本駅東口の屋根掛けについて



■の部分
が屋根
掛けとなる計画です。

現在は、基本設計の作成中で、完成は令和7年度末を予定しています。広場の形状は、極力変更しないとのこと。来年の年明けには、市民からの意見を募ります。

是非皆様の声をお聴かせください。

- ① バスやタクシーの乗降エリア
- ② 身障者の乗降エリア
- ③ 一般車両の送迎利用エリア
- ④ 送迎バスや臨時停留場

＜お知らせ＞

令和4年11月中旬より、駅東口の一般車両の駐停車は上の図の ■ 部分のみに変更されます。○ 部分での、無秩序な駐停車で接触事故が多発しているためとのことです。詳細は、広報11月号をご覧ください。

金森すみ子の一般質問



【 AED（自動体外式除細動器）の有効な利用について 】

問 AEDは、電気ショックを与えることで“心臓のけいれん”を正常なリズムに戻すことを目的とした医療機器です。設置は進んでも、利用のしやすさに課題があると言われています。通勤通学路など普段の生活区域で、AEDが何処にあるのか、日常から把握できることが大切と考えます。日高市のように、市ホームページでAEDマップ（AEDを地図上に示したもの）を用い、視覚的に確認しやすい、市民への周知をしてはいかがか。又、公共施設のAEDは閉所している時間があり、いつでも使うことはできません。コンビニに設置を依頼し24時間利用できる取り組みをしてはいかがでしょうか。

答 日高市を参考にして、ホームページのトップページ内からAED情報へ接続できるよう、検討したいと思います。コンビニエンスストアへの設置については、県内各市の状況を確認し検討します。

（要望） AEDは設置することがゴールではありません。いざという時に、AEDがどこにあるのか、どう使うのか、市民がわかるように市には努めてもらいたい。使い方講習も積極的に進めて欲しいです。

【 集中豪雨災害への対策について 】

問 近年は短時間の集中豪雨が頻繁に起きており、市内でも一時的な道路冠水が何度も見られています。住民が自らできる対策として、雨水タンク設置への補助はできないか。各家庭の雨水タンクに100ℓを貯めて（上尾市の場合）、それを上回る雨水が外へ放出されることになり、短時間の集中豪雨対策には有効とされています。県でも推奨していて、近隣市でも取り組んでいます。

答 市民のニーズや具体的な効果を把握し、財源などの課題を整理するなど研究していきます。

（要望） 集中豪雨への対策には、道路側溝の工事も必要ですが、時間とお金がかかります。雨水タンクはすぐに取り組みして低コスト。普段は庭への散水など節水効果もあり、災害時には生活用水となりメリットは大きいと考えます。住民の防災への関心も高まります。



【 保育所や学校内の樹木の維持管理について 】

問 樹木は、環境に潤いを与え不審者侵入などの防犯対策として重要です。けれど、近年は開校・開所当初に植えられた樹木の太木・古木化により、子どもたちの生活への弊害が心配されています。今年8月鹿児島県では、大木の枝が折れ校長が下敷きなり死亡しました。本市の維持管理を伺います。

答 保育所では、日常の点検のみでは判断が難しい部分は、専門業者の状況確認と報告の上で必要な対応をしています。小中学校では、今年度は専門業者と校内の樹木を1本ずつ確認し、直ちに伐採を要するものは認められませんでした。



【 横断歩道橋の維持管理について 】

問 本市の管轄ではないが、階段側面に穴が開くなど老朽化して安全性に不安だとの声を聴くが、

答 国及び県が5年に一度点検を行い、利用者の安全を確保しています。異常の兆しを察知した場合には早期補修を行い、施設の長寿命化を図っています。

（要望） 昨今は豪雨や猛暑で、劣化の速度は早まっています。例年通りの考え方では、対応が遅れ大事故になると危惧します。年内に、道路関連の不具合を、市民が電子申請できるようになる、とのことで期待します。